

大原社会問題研究所五十年史

Ⅴ 戦後

栗田書店の援助

一九四七年 昭和二十二年 一九四七年二月一八日の委員会で、本年度の役員改選が行われ、森戸、久留間、高野理事が重任ときまり、監事には倉敷紡績会社総務部長翁孝文氏が就任し、また三宅晴輝氏が新たに委員となった。

五月片山内閣が成立して森戸辰男氏は文相に就任した。森戸氏は六月一日常務理事を辞し、久留間氏がこれに代った。一〇月二日高野岩三郎氏の喜寿の会が文相官邸で開かれ、学界、政界の多数の士が参集して盛会であった。その席上、永年研究所の出版物発行をひきうけて関係深い栗田書店主人栗田確也氏は、労働年鑑編集費として一一月より毎月五、〇〇〇円の資金援助をなすべしと言明した。年鑑編集の準備作業も、研究所の財政難と人手不足のため、思うように進捗しなかったのであるが、次年度より次第に軌道にのることになった。

一二月一八日の委員会(出席高野、森戸、久留間、大内、権田、三宅氏)では、次年度の事業計画と予算案(六二万一、〇〇〇円)を決定した。四七年度の決算額は四二万三、二八七円であった。また研究所に対する文部省の補助金は七万七、五〇〇円であった。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)